

使用者の声

「総合殺菌剤 フロンサイドSC」の使用感について、インタビュー！
生産者様の声を紹介いたします。



総合殺菌剤

石原

フロンサイド
SC

【かんしょ】宮崎県 島田さん

深刻だった基腐病の被害が 初めての使用で一気に激減。 綺麗なかんしょを収穫できる喜び。

宮崎県串間市で青果用かんしょを1.7haで栽培する島田さんは、兼業農家としてかんしょを生産する傍ら、JA職員としてその販売に長く携わってきた経歴を持っています。退職を機に農業に専念してからは、品質を重視したかんしょ作りに励んでおり、良いかんしょを作るために肥料や農薬の使用に工夫を重ねて品質向上に努めているそうです。

基腐病による大被害を受け、 試行錯誤の中で出会った決め手の薬剤。

近年の病害虫の発生について何うと、「やはり最近は基腐病ですね。感染するとかんしょの地上部の茎の根元が黒く変色し、やがて腐敗してしまいます」と話します。過去には大きな被害を受けたこともあるそうで、「当初はこんなに最悪な菌とは思っていなかった」と基腐病の想像以上の深刻さに驚いたそうです。

島田さん曰く、様々な基腐病対策を試みてきた中で、フロンサイドSCとの出会いが大きな転機になったといいます。「大きな被害が



出た翌年に、JAの指導員からフロンサイドSCを勧められ使ってみました。すると、試した圃場だけ極端に被害が少なかったため、翌年からは圃場全体に使い始めました」と使用のきっかけを教えてくださいました。

2回の散布で効果は一目瞭然。 安心してかんしょの成長を見守れるように。

それ以来、基腐病対策にフロンサイドSCを植付け前と生育期に使用している島田さん。それぞれの使用時期について何うと、



「まず、マルチを張る前に1回目を全面散布土壌混和します。それから1ヶ月ほど経って植付けをし、2～3週間後に展着剤を加えて2回目の散布を行います。畝間の土壌表面へ薬剤を均一に散布するのが重要だと指導員から教わったので、茎葉が互いに重なる前に散布するように心がけています」と教えてくれました。その結果、以前は圃場の8割で被害が出ていた基腐病を、1割以下に抑えることに成功したそうです。「被害が目に見えて少なくなり、収穫時期まで安心して作業ができます。かんしょが順調に成長していくのを見るのは気持ちがいいです」と、今では基腐病に思い悩まずに栽培ができていているといいます。

「収穫時に、腐敗していないきれいなかんしょが掘り取り機から上がってくる瞬間が一番の喜び」と晴れやかな笑顔で話す島田さん。今まで使ってきた殺菌剤の中で「一番効果がある」と評するフロンサイドSCを今後も活用しながら、「基腐病を克服し、串間市大東地区を再びかんしょの大産地として復活させたい」と力強く語ってくれました。

※取材時(2025年8月)における個人の感想をもとに作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。



Local Insight, Global Impact

石原バイオサイエンス株式会社
〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号



“使用者の声”は
webでもご覧
いただけます